

おもてなしの  
心算



営業部長 遠藤 圭さん

京都のまちは、いろいろな文化や宗教、さまざまなものを日本人に合った形に変えて受け入れてきました。その時々ニーズや嗜好に応じて、良いものをもっと魅力的なものとして提供する「編集力」こそ、私たちが強みにすべきおもてなしの根源だと思います。

また、年齢や性別によって感性は異なるため、お客様の視点に立つて、どうしたら喜んでいただけるのか考えながら接客しています。心がけているのは「自分だった



先人の美意識を  
空間に映して

## ここを込めて 我が社のおもてなし

THE SODOH HIGASHIYAMA KYOTO  
株式会社Plan・Do・See

代表者 / 蛭田 健介  
住 所 / 京都市東山区八坂通下河原東入八坂上町 366  
TEL / 075-541-3310  
URL / <https://www.thesodoh.com/>



らこう接してほしい」という意識を持つこと。目の前のお客様に満足いただけるように、京都の魅力をつひとつ編集していくことを大切にしています。

八坂の塔を間近に望む1700坪の広大な敷地に、レストランやバンケット、結婚式や展示会が開催できるミュージックホールなど、多種多様なおもてなしの空間を用意しています。もともとこの地は、日本画家として知られる竹内栖鳳が居を構えた場所、栖鳳の屋号「東山艸堂」がその名の由来です。

「から作るのではなく、その土地で育まれてきたDNAを大切に受け継ぎながら新たなサービスを考えています」と遠藤さん。例えば、パーティー会場の一つである「ザ・アトリエ」は、栖鳳が実際に創作活動に取り組んだ部屋ですが、三角窓から見える八坂の塔の景色を当時のまま空間に残すことで、「栖鳳も同じ景色を眺めながら作品を生み出した」という目に見えないストーリーをお客様と共有し、感動やわくわく感を提供しています。

「私たちのミッションは、京都の素晴らしさを世界中の人に伝えること」。さまざまな寺院や土産物、アクティビティなどと連携し、その地域の価値や魅力を発信する取り組みを行っています。高台寺の庭をお借りし能や狂言の舞台を楽しみ、SODOHでのお食事をしていただくなど、京都でしか味わえないシーンを提供することで、観光だけでなく、報奨旅行や国際会議、展示会などのお問い合わせも増えています。

八坂の塔の風鐸が、初夏のそよ風に、カランカランと音を立てています。先人の温もりと共に、おもてなしの心は今も東山の地で育まれているようです。